

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 (13:00～13:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	4	5		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11		1	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	6	1		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	4		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期相談から、利用の可能性のある方については、朝礼等で利用者の概要を報告して、情報を把握してもらっている。正式に利用が決まれば、アセスメント書類を作成し、書面で職員には報告をして、内容を読んで生活状況や係わり方を事前に理解できるようにしている。</li> <li>・利用開始後、施設と家族で連絡が取れるように連絡帳を使って、利用中の様子も報告している。</li> <li>・経験豊富な職員を初回は関わるようにして、本人・家族が安心出来るようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用の為に事前の会議等は無く、実際に利用を開始してから、職員間で共有する状況になっている。</li> <li>・職員の勤務形態の違いにより、利用者や家族との関わりが十分に持てない職員も出てしまう。</li> <li>・各職員の経験や技量に違いがあり、全員が同じように支援をする事が出来ていない。</li> <li>・家族や本人の初回の相談ではまだ、聞き取りが不十分な点があり、利用を開始してから、実際は違った事がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回は経験豊富な職員が積極的に関わるようにしているが、利用を重ねるうちに幅広い職員が関われる様に職員配置を工夫して、誰が対応しても同様の支援が出来るようにする。</li> <li>・各職員の経験や技量に違いがあり、職員の必要に応じた研修へ計画的に参加を勧める。</li> <li>・短時間でも、新規利用者の受け入れに向けたミーティングを実施する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 ( 13 : 00～13 : 30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	6	5	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	4		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	7		13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	2	9		13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人に意思確認をして、明確な目標を定めて、本人の意欲に合わせた取り組みをしている。
- ・一人暮らしでも、在宅生活を続ける事が目標の方については、小規模のサービスを組み合わせて、在宅生活が続けられるように、家族と協力をして取り組んでいる。
- ・本人の目標に向けた取り組みを、職員と共有できるようにケアプランで確認をしている。どのような支援が必要なのか会議等で確認し合っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・生活意欲が低下して意思表示の少ない方は、目標に向けた取り組みが継続しない事がある。
- ・家族の意見を優先させてしまい、本人の希望通りに行かない事がある。
- ・ケアプランの理解が不十分で、行わなければいけない支援が出来ていない事がある。
- ・一つの目標が達成されて、次の目標に取り組まなければいけないが、同じ事を続けてしまう事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・生活意欲の低下している方への支援方法について、適切な目標を設定して、継続的に支援できるように会議等を有効に活用する。
- ・家族の希望に合わせてしまう傾向にあり、本人の希望をもっと聞き出すようにする。
- ・新たな目標を本人に意思してもらえように、職員も利用者の目標をケアプラン等で理解する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 (13:00～13:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	7	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7	1		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9	4		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	12			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・自分で出来る生活動作は、自分でやってもらうように、自立した生活を目指している。</li><li>・本人の希望や必要性に合わせて、利用方法を柔軟に変更するようにしている。急な変更にも対応している。</li><li>・継続的に申し送り等で、利用者の変化や訴えに合わせた対応をするようにしている。</li><li>・元々の生活リズムに合わせて、日々の生活が継続できるようにしている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・夜間の様子や普段係わりの薄い時間帯の生活について、把握できていない事があり、一日の生活で不明な時間帯が出来てしまう方がいる。</li><li>・日常生活で自立している場面の多い方は、日々のちょっとした変化に気付くのが、遅れてしまう事がある</li><li>・過去の生活について、後から知る事があり、利用当初には聞き取りが不十分な事がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・以前の暮らしについて、職員一人一人の持っている情報をノート等に記入し、以前の暮らしが10個以上把握できるようにしていく。</li><li>・生活が自立していると、本人に任せてしまう傾向にあるので、日々の関わりや記録から生活状況の変化に早期に気づける様にする。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 (13 : 00～13 : 30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		10	3		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	4	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	7		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			8	5	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・一人暮らしの方でも、ご家族と電話等で連絡をして、利用中の様子や日々の生活について、情報を共有している。
- ・地域包括や派出所、又は地域の民生委員とも連携をし、在宅生活を見守りができる体制作りが出来てる。
- ・施設の利用を開始した事で、地域とのつながりが無くならない様に、利用スケジュールを調整している。
- ・ご近所の見守りが必要な方には、事業所として、必要に応じて隣近所に挨拶を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者と地域住民とのつながりについて、十分に把握が出来ず、支援に結びつける、取り組みが出来ていない事があり、在宅での生活にもっと注目する必要がある。
- ・公的なサービスではない非公式な地域住民による支援事業について、様々な関係機関からもっと情報を集めて、有効に活用する事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・利用者が地域との関わりが継続出来るように、民生委員と連携をして、地元の情報を収集していく。
- ・利用者が元々地域でどのような活躍や生活をしていたのか、過去の生活にもっと着目した、聞き取りをするようにしたい。
- ・地域の行事に複数の職員を参加する事で、事業所を幅広く理解してもらえるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 (13:00～13:30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	10	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7	2		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	8			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・通いも宿泊も拒否のある方には、一日に数回の訪問を繰り返し、在宅での生活を家族と協力して、継続できるように支援をしている ・夜間、在宅で不安になり、電話で相談があれば、必要に応じて、緊急訪問も行っている ・本人や家族の希望に応じて、緊急の利用の変更や、利用者の生活に合わせた小規模の利用計画を立てる様にしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源が把握できていないので、資源を活用した支援が出来ていない。 ・小規模の利用目的や必要性に応じた個別支援の内容が、統一されていない事があり、支援内容に違いが出てしまう事がある。 ・小規模の利用方法が一定期間、変化が無く固定してしまっている方がいるので、小規模の利点を生かした利用方法の提案が不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・本人・家族からの希望が無いと、利用方法の変更に対する提案が不足してしまうので、小規模の特徴や利点をもっと家族や利用者に伝えていく。 ・地域の資源を知る為にマップ作りに挑戦し活用・支援に繋げていきたい。また防災にも活用したい。 ・小規模の利用計画が定着して、安定すると、施設側から計画の変更に対する提案が不足してしまう。利用状況を見て、在宅生活を主体とする利用方法を提案する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 (13 : 00～13 : 30 )

6. 連携・協働

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	3	2	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2		2	8	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	6	1	5	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	5	4	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具や訪問看護と情報を共有して、利用者の変化に応じた支援内容の見直しをしている。</li> <li>・病院受診や地域活動についても家族から情報を確認して、内容を把握するようにしている。</li> <li>・本人の生活やご家族の状況によっては、地域包括と連携をして、共に問題解決に当たる事もある。</li> <li>・利用者の親族や友人知人、又は地域の協力者たちの訪問や面会は制限を設けずに受け入れている。</li> <li>・ボランティアの出入りも多く、複数の方が事業所に来訪されている。</li> <li>・地域の役員をしている職員もおり、情報も入りやすい。行事等に参加して利用者に安心感を持ってもらっている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未申請の方や自立の方等を施設側から情報を把握する為に、地域に出て行く活動が不十分。相談が来るのを待っている状況になっている。</li> <li>・利用者の地域住民と連携をした支援を、施設側から提案してネットワーク作りが出来ていない。地域からの相談を持っている事で、積極的な関わりが出来ていない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に対して広報活動を行うために、地域の集まりに出向き情報を発信するようにして、同時に地域の情報も収集するようにする</li> <li>・会議・行事等は、職務・勤務形態もあり同じ職員の参加が多くなっているが、多くの職員が関わられるようにして、連携・協働の大切さを理解する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 (13 : 00～13 : 30 )

7. 運営

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		6	4	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	2		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	4		11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		6	5		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所のあり方について、年 2 回上司と面談を行い意見や考えを聞き取る機会を作っている。また、年間行事・研修はアンケートを取って実施している。</li><li>・苦情に対しては苦情報告書として、責任者に提出し、再発防止について、対策を立てる仕組みがある。</li><li>・運営推進会議や地域行事に参加して、地域と連携をして、意見を聞かせて頂き、共同で支援について取り組んで行く事もある。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の支援方法については各職員で色々な意見を持っているが、運営については各職員からは意見が出にくい。</li><li>・事業所の存在が徐々に地域にも浸透してきたが、まだ、事業所の事を知らない方も多くいるので、地域に出て、積極的な活動が足りない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・苦情に対して、原因の確認と再発防止の取組みについて、全ての職員が理解して業務を行えるように、会議等を利用する。</li><li>・地域と連携し認知症サポーター研修・講演会等を企画し、地域の方との交流の機会を増やしていきたい。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日（13：00～13：30）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	6	1	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	3	2	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	3	1		8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	4	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>各職員に必要な知識や技術向上の為に、職員のレベルに合わせた研修を選び参加してもらっている。</li><li>職員が参加した外部の研修について、会議の時間を使って、内部研修として報告会を行っている。</li><li>職員の資格取得に向けて、情報の提供を行い、知識や技術が向上できるように職員間の協力体制や支援を行う体制が出来ている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>事故対策委員会がしっかり確立しておらず、対策方法が周知徹底されていない。</li><li>内部研修は行っているが、短い時間で報告を行うので、十分に伝えきれない状況にある。</li><li>参加した研修内容を、実際に業務取り入れる事が難しく、研修が活用できない事がある。</li><li>ヒヤリハットの記録が少ない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>会議等で決めた事が全職員に伝わるように議事録等書面で回覧を行い周知徹底を行う。</li><li>以前からのやり方にとらわれず、常に新しいやり方や方法を考えるようにする。</li><li>夜勤職員が安心して勤務できるように、緊急時の対応方法を利用者ごとに明確にしておく。</li><li>事故対策委員会を確立し対策方法を周知徹底し同じような事故・ヒヤリハットを繰り返さないようにしていきたい。</li></ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 1 月 7～13 日 (13:00～13:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小泉・片平・増田・望月・谷本・渡仲・斉藤  
岩間・牧野・遠藤・町田・梅原・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13				13
②	虐待は行われていない	13				13
③	プライバシーが守られている	10	3			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	2	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4	1		12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員同士声をかけあい見守りを徹底して支援している。また、個人の尊厳を支える支援をしているので、拘束・虐待はしていない。
- ・個人情報は書棚にしまい、安易に誰でも見ることが出来ないように管理保管をしている。
- ・施設の出入りも自由に出来るように施錠を行うような事はしていない。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・成年後見制度において、対象者は 1 名いる。地域包括にも協力を依頼し利用を進めているが、本人が納得せず利用に至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・忙しい時に、職員が慌てずに周りの状況を見て、業務を行う事が出来るように職員の連携や協力体制を見直して改善したい。
- ・職員間で成年後見制度の知識が不十分なため、施設内研修を実施し理解を深めていく。

小規模多機能型居宅介護「サービズ評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 博美会	代表者	近藤信人
事業所名	小規模多機能型ホーム 富士の里	管理者	佐野路子
法人・事業所の特徴			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は栄養士の献立により、3食手作りをし、極力加工品を使わないように提供している</li> <li>・自立支援に向けた、生活動作向上の取組みをしている。</li> <li>・地域で行う行事や季節に合わせた外出を行い、地域交流を楽しんでもらっている。</li> <li>・運営母体に医療法人があるので、医療連携が取りやすい体制になっている</li> </ul>			

出席者	市町村職員 1人	知見を有するもの 人	地域住民・地域団体 3人	利用者 人	利用者家族 1人	地域包括支援センター 人	近隣事業所 人	事業所職員 5人	その他 人	合計 人
-----	-------------	---------------	-----------------	----------	-------------	-----------------	------------	-------------	----------	---------

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み、結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			自分たちの仕事に対して、厳しく評価していると感じる。 会議や研修の計画が多いが効率的に行う事が重要	毎月行う会議や研修を有効活用し、情報の共有や職員の資質向上に努める
B. 事業所のしつらえ・環境			頻繁に訪問する訳ではないが、建物も綺麗で、広さも十分あり、過ごしやすいように感じた	利用者の生活がより活発になるように、生活しやすい環境を維持し、新しい提案を行う
C. 事業所と地域のかかわり			地区で行う集会や会合に職員さんに来てもらって、制度や健康について話をしてもらおうのも良いと思う	施設側からも専門職として、地域に情報を発信し、幅広く連携がとれる事業所を目指す
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み			地域の行事に参加をしているのを見ました。祭り事は大勢いたほうが盛り上がるので良い	地域行事への参加を、年間計画の中にいれ、多くの利用者に地域交流が継続できる支援を行う
E. 運営推進会議を活かした取組み			推進会議で、地域の情報を伝えている。事業所の様子も聞かせてもっている。取組み状況がわかる	施設の運営状況について、様々な形で現状を報告して、また、地域の情報把握にも取組んでいく
F. 事業所の防災・災害対策			防災について、計画や訓練を見る事がなかった。よく分からないう。機会があったら見せてもらいたい	地域の防災訓練に施設職員も参加させて頂き、災害時の協力体制を整えたい。